



◆ゼロカーボンシティ 新宮◆

地球温暖化について、 知ろう、考えよう、行動しよう！

■問い合わせ先 役場環境課 ☎963-1732(直)

地球温暖化の解決に向けて

平成27年に、産業革命以前に比べて世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力をすることを世界共通の長期目標とするパリ協定が採択されました。

また、気温上昇が1.5℃を大きく超えないようにするためには、2050年頃までに、地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量が実質ゼロ(排出量と吸収量が等しい)となる必要があることが分かっています。

このような脱炭素社会をめざすために、私たちのくらし方も大きく変える必要があります。

近年、世界各地で猛暑や大雨などの異常気象が多発し、国内でも、集中豪雨や台風など、さまざまな自然災害が起きています。平成29年7月九州北部豪雨や、令和3年9月に観測史上初めて福岡県に直接上陸した台風14号も記憶に新しいところです。

このような自然災害が引き起こされる原因のひとつとして、地球温暖化があります。地球温暖化が進行すると、自然災害が発生する頻度や規模が大きくなると予測されています。

自然災害の他にも、地球温暖化によって暑さで農作物が育たなくなる、水産物が獲れなくなるなどの現象が現れ始めています。

地球温暖化は、町民のみならずにも身近な問題です。地球温暖化を防ぐために、わたしたちにできることについて、今月から5回に分けて連載します。



出典：平成29年7月九州北部豪雨に関するUAVの動画(国土地理院ホームページ)を加工して作成

新宮町の取り組み

各地で地球温暖化による異常気象が発生するなか、気候変動という地球規模の課題の解決に向けて、国は令和2年10月に2050年カーボンニュートラルを宣言しました。

町でも2月1日に、住民、事業者、行政が一体となって2050年までにカーボンニュートラルをめざす町として、「新宮町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

地球温暖化を防ぐための町が行う取り組みの一つとして、まずはみなさんに、国の「ゼロカーボンアクション30」について理解していただきたいと考えています。

「ゼロカーボンアクション30」とは、令和3年6月に国が示した国民目線での脱炭素社会の実現に向けた具体策です。衣食住・移動・買い物などの日常生活における脱炭素行動（アクション）とくらしにおけるメリットが30個の項目に分けられています。具体的な取り組みの内容については、地域特性や気候風土などに応じて、適宜改良しながら活用することが想定されています。

少しでも日常生活のなかで温室効果ガスの排出量を削減できるように、脱炭素の取り組みを知り、考え、行動しましょう。

カーボンニュートラルとは、地球温暖化の原因とされ、人為的に排出される二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにすることを意味しています。



ひとりひとりができること

ゼロカーボン アクション30

脱炭素社会の実現には、ひとりひとりのライフスタイルの転換が必要です。

「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう。

ここに示した8個の項目は、環境省のホームページの表現のまま掲載しており、30個のアクションは、これらの項目の下に示されることとなります。



エネルギーを
節約・転換しよう！



太陽光パネル付き・
省エネ住宅に住もう！



CO2の少ない
交通手段を選ぼう！



食ロスをなくそう！



サステナブルな
ファッションを！



3R（リデュース、
リユース、リサイクル）



CO2の少ない製品・
サービス等を選ぼう！



環境保全活動に
積極的に参加しよう！

※「サステナブルな」とは「持続可能な」という意味です。